

## 歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会

第101回 8月25日(土) 10:00~ くらしの植物苑内

「変化朝顔の世界」 仁田坂英二 (九州大学大学院)

第102回 9月22日(土) 13:30~ くらしの植物苑東屋

「江戸の果物」 原田信男 (国士舘大学)

今週のみどころ・伝統の朝顔 <http://www.rekihaku.ac.jp>



## 伝統の朝顔展 展示中 8月21日から26日は8:00から開苑



青握爪竜葉瑠璃色総風鈴獅子咲牡丹



青打込堀渦柳葉青采咲牡丹



青丸葉無弁花



青丸葉無弁花牡丹

くらしの植物苑で見られる変化朝顔は、文化・文政期(1910年代)、嘉永・安政期(1840年代)に栽培されていた、生きた歴史試料としての朝顔をみていただけます。朝顔なので、午前中においでください。

### トウガラシ (ナス科トウガラシ属)

トウガラシは辛味の有無、形・色など変化に富み、いろいろの品種がある。苑内には辛味の少ない本種と、タカノツメを栽培しています。未熟果を焼いたり、葉を佃煮にしたり、完熟果を辛味として利用します。





タカノツメ (ナス科トウガラシ属)

辛味の強い小さな果実を上向きにつけます。完熟すると赤くなります。果実を乾燥粉末にし、とうがらしに、またピクルス、ソースに加えます。



ワタ (アオイ科ワタ属)

繊維植物として、油をとる植物として栽培されています。花の後にやや先の尖った球状の蒴果ができます。蒴内には長い棉毛と短い地毛に覆われた種子があります。



ジュウロクササゲ (マメ科ササゲ属)

豆莢を野菜として利用する品種群で、栽培が容易な品種です。若莢は和え物やてんぷらに、豆は皮が破れにくいので、慶事の赤飯にはアズキ代わりに使われることが多い。



メロン (ウリ科キュウリ属)

畑の中にある温室ではメロンがいいにおいをしています。コヒメウリはジュウロクササゲと一緒に新潟県の新津地方では、お盆のお飾りに使われます。金俵瓜は、子供のころのメロンといったら、このキーマッカでした。銀泉は韓国で一番栽培されているメロンです。



コヒメウリ



金俵甜瓜



銀泉

